

見るからに体格のいい男子学生が、大鏡を見ながら手クシで頭髪を整えている。笑顔になった。気に入った髪形になったのだろう。鏡に映る自分をずっと見ている。自宅なら構わないが、ここは駅構内のエレベーターである。

大鏡は車いすの利用者にとっては命にかかわる大切な後方確認用のもの。後方の人の流れはどうだろう。小さな子供が一人でいないか。予期せぬ障害物はないか。背中を向けるときは、だれでも後ろが気になるものだ。

車いす利用者は、安全鏡が若者の大きな体でふさがれ、思うように見えず困っていた。

「だれでもどうぞ」と表示されている多機能トイレ。こちらも駅構内でよく見かける。そのトイレから元気な男子学生が出てきた。冬は防寒用の身にまとうものが多かった。スポーツバッグもでかい。広々としたスペースが“隠れた人気”となっているようだ。驚くことに中で食事する人や洗髪する人がいて、室内には啓発の掲示板がある。

だれでもトイレの表記が、こうした曲解を生むのか。「ちょっと待って！」で始まるメッセージがある。「なぜこのトイレを使わなければならないのか考えて見て下さい。ここしか利用することができない人のために空けておいて下さい」。中央大学多摩キャンパス、中央図書館内の掲示である。

2020年東京五輪・パラリンピックが控えているからではなく、日ごろから相手の立場で考えたい。「おもてなし」の始まりだ。エレベーター内の大鏡も、多機能トイレも親や祖父母が使うとなれば、若者の使い方も違ってくる。

志を高く入学してきた新入生諸君。キャンパスに入る前の駅構内から、孝行や社会貢献を始めてみようか。人を笑顔にするのは、きっと、こちらも笑顔になる。

(編集長 久保田茂信)

Staff

◎取材協力

学事部
各学部事務室
通信教育部
大学院事務室
学生部
ボランティアセンター
中央図書館

国際センター
入学センター
キャリアセンター
学友会
経理研究所
委員会 ほか

◎写真提供&協力

「中大スポーツ」新聞部

◎写真提供

A F P 通信

◎学生記者

西村卓真
高瀬杏菜
中村亮士
増田ゆり
野村睦
山下崑
菅野誠一郎
代田知之
猪瀬春奈

山田俊輔
魚住剛司
今村直道
片桐将吾
長塚優佳
内藤伊音
渡邊大裕
佐藤檀子
(順不同)

◎制作協力

産経新聞社 産経編集センター

NEXT ISSUE

『HAKUMON Chuo』2016 夏号
No.247 7月1日発行予定

学生記者が総力取材!

お楽しみに!



2016 春号 NO.246

2016年(平成28年)4月2日発行

発行：中央大学広報室
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

メールアドレス：hc@tamajs.chuo-u.ac.jp

編集担当：『HAKUMON Chuo』 ☎042-674-2048